

実際に商品を使用する際は、必ず商品に書いてある説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

部分が2016年8月24日付けで変更になりました。

【適用害虫と使用方法】※印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と本剤及びMEPを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期※	総使用回数※	使用方法			
樹木類	アブラムシ類、ゲンバウムシ類、 フラーバラゾウムシ	1,000	200~700 ml/m <sup>2</sup>						
	アメリカシロヒトリ	500~ 1,000							
花き類・観葉植物	アオムシ、バッタ類、ハマキムシ類、アザミウマ類	1,000	100~300 ml/m <sup>2</sup>	-	6回以内	散布			
ばら	アブラムシ類、フラーバラゾウムシ								
きく	アブラムシ類、カメムシ類 ヨトウムシ類、フラーバラゾウムシ								
つつじ類	ゲンバウムシ類、ハマキムシ類								
カーネーション	アザミウマ類、クロウリハムシ								
宿根かすみそう	ハモグリバエ類								
アスター	ウリハムシ								
ソリダゴ	カメムシ類								
スターチス	コガネムシ類								
シネリア	シンクイムシ類								
斑入りアマドコロ	コウモリガ								
ききょう	ヨトウムシ								
りんどう	ヒラズハナアザミウマ								
せんりょう	アザミウマ類、カメムシ類								
こでまり	カイガラムシ類								
しきみ	クスアナアキゾウムシ								
にしきぎ	ケムシ類								
しゃりんばい だいおうしょう	シンクイムシ類								
さかき	ハマキムシ類								
さんごじゆ	ワタノメイガ								
芝	コガネムシ類幼虫	1m <sup>2</sup> 当り 3ℓ	発生初期						
	シバツトガ、スジキリヨトウ	1m <sup>2</sup> 当り 0.3~2ℓ							
	シバオサゾウムシ	1m <sup>2</sup> 当り 3ℓ					幼虫発生期		
トマト	アブラムシ類、オオニジュウヤホシテントウ	2,000	100~300 ml/m <sup>2</sup>	収穫開始 14日前まで	2回以内	散布			
なす	アブラムシ類、テントウムシダマシ類	1,000		収穫3日前まで	5回以内				
ばれいしょ				6回以内					
きゅうり、 メロン しろり	アブラムシ類、アザミウマ類	1,000		収穫前日まで	5回以内				
すいか				収穫3日前まで	6回以内				
かぼちゃ				収穫14日前まで	3回以内				
たまねぎ				収穫21日前まで	2回以内				
いちご (露地栽培)	アブラムシ類	2,000		収穫21日前まで					
ほうれんそう	1,000								
モロヘイヤ	アブラムシ類、アザミウマ類、 マメコガネ、カメムシ類	2,000		100~300 ml/m <sup>2</sup>	収穫14日前まで				
ねぎ	アブラムシ類、アザミウマ類、ネギコガ	2,000			収穫21日前まで				
そらまめ	アブラムシ類			収穫3日前まで	3回以内				
未成熟そらまめ	シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤタマバエ、 カメムシ類、マメヒメサヤムシガ、 アブラムシ類、マメシンクイガ	1,000					4回以内		
豆類(未成熟、ただし、未成熟そらまめを除く)									収穫21日前まで
えんどうまめ									収穫21日前まで
豆類(種実、ただし、えんどうまめ、そらまめを除く)									収穫30日前まで
あずき	アブラムシ類、カメムシ類			収穫21日前まで	5回以内				
とうもろこし	アワノメイガ、カメムシ類			収穫7日前まで					
かんしょ	イモコガ、アブラムシ類、 ヨツモンカメノコハムシ	100~300 ml/m <sup>2</sup>					2回以内		
ごぼう	アブラムシ類、フキノメイガ								
らっきょう	アザミウマ類								

かき	カキノヘタムシガ、カキホソガ、 アメリカシロヒトリ、フジコナカイガラムシ オオワタコナカイガラムシ、カメムシ類、 イラガ類、ミノガ類若令幼虫			収穫45日前まで	本剤：3回以 内 MEP：3回以 内（樹幹処理 は2回以内）		
うめ	アブラムシ類、アメリカシロヒトリ、ハマキムシ類			収穫14日前まで	2回以内		
おうとう	アブラムシ類	1,000～ 2,000		収穫21日前まで	本剤：2回以 内 MEP：2回以 内（樹幹処理 及び灌注処理 は合計1回以 内）		
大粒種ぶどう	アブラムシ類、ブドウスカシバ、ブドウトリバ	1,000～ 2,000	200～700 ml/m <sup>2</sup>	収穫30日前まで	本剤：2回以 内 MEP：4回以内 （収穫終了後 から萌芽まで は2回以内、 萌芽後は2回 以内）		
	ハマキムシ類、ブドウトラカミキリ、 キンケクチフトゾウムシ成虫	1,000					
小粒種ぶどう	アブラムシ類、ブドウスカシバ、ブドウトリバ	1,000～ 2,000		収穫90日前まで			
	ハマキムシ類、ブドウトラカミキリ、 キンケクチフトゾウムシ成虫	1,000					
みかん	アブラムシ類	1,000～ 2,000		収穫14日前まで		本剤：5回以 内 MEP：5回以内 （樹幹処理は 1回以内）	
	ハマキムシ類、サンホーゼカイガラムシ、 カメムシ類、コアオハナムグリ	1,000					
なつみかん	アブラムシ類	1,000～ 2,000		収穫21日前まで		本剤：3回以 内 MEP：3回以内 （樹幹処理は 1回以内）	
	ハマキムシ類、サンホーゼカイガラムシ、 カメムシ類、コアオハナムグリ						
もも	アブラムシ類、モモハモグリガ、 モモシンクイガ、ナシヒメシンクイ、 クワシロカイガラムシ、カメムシ類	1,000		収穫3日前まで		本剤：6回以 内 MEP：6回以 内（樹幹処理 は1回以内）	
りんご	アブラムシ類、モモシンクイガ、ナシヒメシンクイ、 ハマキムシ類、ナシグンバイ			収穫30日前まで		3回以内	
なし （無袋栽培）	アブラムシ類、ナシグンバイ、ナシホソガ、 ナシチビガ		1,500	収穫21日前まで	6回以内		
	クワコナカイガラムシ						
オリーブ オリーブ(葉)	オリーブアナアキゾウムシ	50	0.3～3L/ 樹	収穫120日前ま で	3回以内	樹幹散布	
うど	アブラムシ類、ヨトウムシ、センノカミキリ、 ヒメシロコブゾウムシ、ウドノメイガ	1,000	100～300 ml/m <sup>2</sup>	根株養成期 但し、収穫150日 前まで	4回以内	散布	
たらのき	センノカミキリ幼虫、ヒメシロコブゾウムシ	100	150～ 300ml/m <sup>2</sup>	3～5月株養成期	2回以内	樹幹散布	
桑	クワゾウムシ成虫	500	100～300 ml/m <sup>2</sup>	成虫発生期	6回以内	散布	
稲	イネシガレセンチュウ	1,000	-	は種前	本剤：1回 MEP：3回以内 （種もみへの処 理は1回以内、 育苗箱散布は 1回以内、本田 では2回以内）	6～72時間浸漬	

【効果・薬害等の注意】

- ①ボルドー液との混用は散布直前に行い、できるだけ早く使用してください。その他のアルカリ性の強い農薬とは混用しないでください（分解）。
- ②あぶらな科作物にはかからないようにしてください（薬害）。
- ③桃の初期（5～6月）、ほうれんそうの幼苗期は薬害が出ることがある。梨の早生赤種、りんごの旭及びその近縁種、開花期の花き類への使用はさけてください（薬害）。  
ひのきに対しては個体によって落葉、枯損のおそれがあるのでかからないように注意。
- ④芝のコガネムシ類幼虫には、散布液が土壤中に十分しみ込むようジョロ等で1㎡当り3ℓ散布してください。
- ⑤かきのミノガ類には若令幼虫期に散布してください（効果）。
- ⑥果樹のカメムシ類に対しては、発生に応じて所定使用回数以内で繰り返し散布してください。
- ⑦適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所または販売店等と相談することが望ましいです。

【安全使用上の注意】 マスク着用 手袋着用 塗装注意

- ①体調のすぐれない時は散布しないでください。

- ②誤飲に注意してください。
- ③眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください（刺激性）。
- ④皮ふに付着しないよう注意してください。皮ふに付いた場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください（刺激性）。
- ⑤かぶれやすい人は取扱に十分注意してください。
- ⑥散布時は、農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをして衣服を換えてください。作業時の衣服等は他と分けて洗濯してください。
- ⑦自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかからないよう注意してください（塗装汚染・変色）。
- ⑧作業中や、散布当日は散布区域に小児やペットが立ち入らないよう配慮してください。風向きなどを考え周辺の人家、自動車、洗濯物、ペット、玩具などに散布液がかからないよう注意してください。
- ⑨街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係ない者が散布地域に立ち入らないよう縄囲いや立て札をたてるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- ⑩散布液が水槽、池、河川などに入らないよう注意してください。
- ⑪蚕に対して影響がありますので、給桑を予定している桑葉にはかからないようにしてください。
- ⑫ミツバチに対して影響がありますので、以下のことに注意してください。
  - ・ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
  - ・受粉目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
  - ・養蜂が行なわれている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めてください。
- ⑬使用後の空容器は3回以上洗浄してから処理してください。

治療法：硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の投与が有効と報告されています。

魚毒性：河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがありますので、使用残液及び容器の洗浄水等は河川等に流さず適切に処理してください。